

いわおかのうみんりぞうとくらぶ

# 岩岡農民涼蔵斗倶楽部（松本市）

|          |    |    |    |
|----------|----|----|----|
| ・組織の活動面積 | A= | 38 | ha |
| ・組織の構成員数 | 約  | 24 | 人  |

|        |                                          |                                   |                                                |
|--------|------------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------------|
| 組織形態   | 農地維持 <input checked="" type="checkbox"/> | 資源向上(共同) <input type="checkbox"/> | 資源向上(長寿命化) <input checked="" type="checkbox"/> |
| 取組開始年度 | 平成26年～                                   | —                                 | 平成28年～                                         |

|     |           |
|-----|-----------|
| 構成員 | 岩岡地区農業者有志 |
|-----|-----------|

## 組織の概要

我が組織の活動地域は、梓川に架かる倭橋から中央橋に沿った梓川左岸の水田地帯で、安曇平の最東端に位置しています。地域の歴史を紐解くと、戦国時代末期に松本城主小笠原氏より、当該地を安堵されたのが始まりです。当該地は、梓川左岸の河岸段丘の最深部で、梓川の流れに近い為に、先人達は何百年にもわたって、開墾した農地を梓川の氾濫から守るのに悪戦苦闘して来ました。神にもすがりたい時があったのでしょ、地域のお宮である「岩岡神社」には、水の神様の「瀬織津姫」が祀られています。この悪戦苦闘も、百年前の護岸堤防の設置と、50年前の梓川上流のダム建設により、終焉を迎えました。

しかし、時代の流れは変えることが出来ません。日本が経済の高度成長を経て農業国から工業国になったことと、少子高齢化の流れは否応なく当該地にも波及し、将来の農地・担い手の維持に深刻な影響を与えようとしています。そんな折、多面的機能支払事業の施策があることを耳にし、この機会を利用して、まずは地域の組織的な活動から始めてみようということになり、24人の有志で農地維持活動をスタートさせました。地域の先人達が梓川の流れを克服した様に、我が組織が時代の流れを克服するコアとなれるまでに、成長することが出来ればと思っています。そんな中で、今年度からは資源向上(長寿命化)活動もスタートしました。

## 農地を守って22世紀も咲かそう岩岡の大桜

植樹100年を迎えた岩岡の大桜



梓川の堤防設置と共に桜の木を植樹し、近隣の堤防にみられる桜並木の先駆けとなりました。また、堤防が決壊しそうな時には、切り倒して補強材として使われた歴史があります。

賑やかさを取り戻した岩岡神社の例大祭



わずか4人で始めたお祭りの笛の生演奏復活活動が、組織的な活動へと発展し、賑やかなお祭りを取り戻しました。「小さく生んで大きく育てる」ことの大切さを学びました。この活動もそうなることを願っています。

統一日付での草刈り作業



水路の泥上げ作業



初めての視察・研修



審議を尽くす総会・会議

